

第5回 九頭竜川自然再生計画検討会

議事骨子

日 時 : 平成20年9月12日(金) 14:00~16:00

場 所 : 福井市地域交流プラザ 研修室601

1. 議事

事務局より、砂礫河原再生(九頭竜川中流域)について、整備目標の設定、段階的整備計画、モニタリング計画の説明がありました。

また、九頭竜川の各再生事業における整備目標の設定、段階的整備計画、モニタリング計画について、各構成員から以下のような意見がありました。

砂礫河原再生に関するご意見

- ・九頭竜川の河川環境を考える上では、河川敷内への車の乗り入れはしない方がよいのではないか。
- ・アユ釣りの時期とイカルチドリの繁殖期はずれているため、車の乗り入れによる直接的な影響は小さいと考えられる。
- ・九頭竜川河川敷内におけるサギのコロニー形成箇所を考慮して欲しい。コロニー形成の可能性が高いと考えられるのは福井大橋の上下流、五領川の合流点のあたりと考えられる。

五領川合流点付近の砂礫河原 及び の下流側の樹木は当面保全を考えている。

- ・砂礫河原再生における鳥類の指標種としては、イカルチドリ以外にイソシギが挙げられる。
- ・陸域部だけでなく、水辺移行帯及び水中についても九頭竜川中流域の環境全体としてとらえてほしい。
- ・砂礫河原再生事業では、礫が移動しやすい環境を形成することとなり、水中の沈み石が浮き石となるような効果も兼ねているため、そのような観点も踏まえて魚類の調査も実施してはどうか。
- ・以前は21.0k~22.0k付近には砂礫河原が形成されていたため、当該箇所において部分的な樹木伐採やみお筋の造成等を行うような検討をしていただきたい。また、樹木が繁茂した箇所においては不法投棄が目立っている。

当該箇所においては、試験施工を行うため、その結果を踏まえて今後対応したい。

- ・九頭竜川は福井平野の真ん中を流れている川であり、人間との関係が不可欠であると思われる。川や自然は人間と共生してこそ成り立つものと考えられるため、人と川とのつながりという点も強調してほしい。

2. 事務連絡等

事務局より、今後の検討会の開催予定及び討議内容についてお知らせがありました。